

# BIZEN

FROM EARTH AND FIRE, EXQUISITE FORMS

秋季特別展

## THE 備前

— 土と炎から生まれる造形美 —

桃山時代から

現代へ



2019 9.14 sat – 12.15 sun

MIHO MUSEUM

〒529-1814 滋賀県甲賀市信楽町田代桃谷300  
TEL.0748-82-3411 <http://miho.jp>

徳利 銘 トシワスレ 桃山時代 16-17世紀



秋季特別展

# THE 備前

—土と炎から生まれる造形美—

I章 源流としての備前焼



II章 近代の陶芸家と備前焼



III章 現代の備前焼



①茶碗 銘「只今」 桃山時代 16 | 17世紀 岡山後楽園 / ②陶板 桃山時代 16 | 17世紀 MIHO MUSEUM / ③三右衛門 桃山時代 16 | 17世紀 / ④山本陶秀 伊部手花入 昭和17年1942 / ⑤金重陶陽 青備前鼓島香炉 昭和13年1938 / ⑥藤原啓 窠変水盤 昭和37年1962 / 東京国立近代美術館 / ⑦森陶岳 砂壺 昭和45年(1970) 東京国立近代美術館 / ⑧島村光 群雀 平成14年2002 / ⑨伊勢崎淳 角花生 平成20年2008 / 岡山県立美術館 ※会期中に部展示替あり

釉薬を施さないシンプルで原始的な「焼き締め」で焼成される備前焼。その土と炎から生み出される造形は、古くから日本人に愛されてきました。「窠変(まうへん)」「緋櫛(ひだすき)」「牡丹餅(ぼたんもち)」「胡麻(ごま)」「棧切(さんぎ)」など窯内で生じた景色は、他窯にはない備前焼の大きな特徴です。本展は、桃山時代から江戸時代にかけて焼造された茶の湯のうつわを中心に古備前の魅力を紹介します。「I章 源流としての備前焼」、その古備前に魅せられ写しと創作に取り組んできた重要無形文化財保持者(人間国宝)をはじめ、日本を代表する近代作家6名の作品を紹介する「II章 近代の陶芸家と備前焼」、そして「備前焼とは何か」を常に意識し独自の素材と造形による表現と可能性に挑戦し続ける現代作家9名の作品を紹介する「III章 現代の備前焼」の3部構成となっています。伝統的な茶陶や細工物から新進気鋭の作品まで、時代を超えた備前焼の魅力と潮流をどうぞご覧ください。

イベント情報 詳細はホームページをご覧ください <http://miho.jp>

## ギャラリートーク

隠崎 隆一氏 (出品作家)

- 日時: 10月12日(土) 14:00 ~ 15:00
- 会場: 北館 ●予約不要 ●参加無料(入館料要)

## 特別展関連講演会

「備前焼の魅力と作風の展開—桃山時代から現代まで—」

講師: 唐澤 昌宏氏 (東京国立近代美術館工芸課長)

- 日時: 10月26日(土) 14:00 ~ 15:30
- 会場: 南レクチャーホール ●定員: 100名
- 予約不要: 当日美術館棟受付にて整理券配布
- 参加無料(入館料要)

## 秋の夜間コンサート

速海ちひろ & 森本英希

—グランドハーブの弾き歌いとフルーツの協演—

- 10月17日(木) 受付 10:00 ~ 随時 / 夕食 17:00 ~ / コンサート 18:30 ~ 約1時間
- プログラム: 「荒城の月」、「星めぐりの歌」、「きらきら星変奏曲」ほか
- 参加費: 一般 7,000円 MIHO MUSEUM友の会会員 6,000円
- 入館料、コンサート鑑賞、夕食(ドリンク付)、消費税含む
- 申込: 電話、HPよりメール、ファクシミリ、郵送
- 締切: 10月8日(火) 到着日まで



## 次回予告

2020年春季特別展

2020年3月14日(土)~6月7日(日)

MIHO MUSEUMコレクションの形成 —絵画を中心に— (仮称)

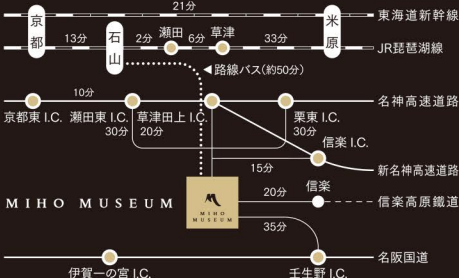
象と鯨図屏風(部分) 伊藤若冲筆 江戸時代 寛政7年(1795)



## アクセス

タクシー利用: JR「石山」・「瀬田」・「草津」各駅より35分、信楽高原鉄道「信楽駅」より20分

高速道路利用: 新名神「信楽I.C.」より15分、「草津田上I.C.」より20分、名神「栗東I.C.」/京滋バイパス「瀬田東I.C.」より各30分、名阪国道「壬生野I.C.」より35分



交通 ※バス時刻は変更されることがあります。

JR琵琶湖線 石山駅 発 ▶ 産産バス「MIHO MUSEUM 行き」(所要時間50分)

平日 9:10 10:10 11:10 12:10 13:10

土日祝 9:10 9:50 10:10 11:10 12:10 13:10 14:10

MIHO MUSEUM 発 ▶ 「JR 石山駅 行き」

11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:07 17:14

信楽高原鉄道 信楽駅 発 ▶ 「田代・畑・陶芸の森ルート」(所要時間20分)

9:50 13:50

MIHO MUSEUM 発 ▶ 「信楽駅」方面

10:10 12:20 13:30 14:06

主催: MIHO MUSEUM、 京都市新聞

制作協力: NHKプラネット中部

後援: 滋賀県、滋賀県教育委員会、NHK 大津放送局

朝日放送、エフエム京都、産産湖南交通

開館時間: 午前10時~午後5時(入館は午後4時まで)

休館日: 月曜日 ※9/16、23、10/14、11/4は開館、

9/17、24、10/15、11/5は休館

入館料: 一般1,100円、高・大生800円、小・中生300円

(20名以上の団体は各200円割引)

〒529-1814 滋賀県甲賀市信楽町田代桃谷300

Tel.(0748)82-3411 Fax.(0748)82-3414

<http://miho.jp>(パソコン・携帯電話共通)

# MIHO MUSEUM